

リゼンドル (ル・ジャンドル) <sup>1</sup>について (再訂稿)  
—台湾出兵、十五世市村羽左衛門・関屋敏子によせて—

(令和 4 (2022) 年 8 月 2 日 (火) 現在)

(補正経緯)

HP 初出: 平成 22 (2010) 年 12 月 12 日 (日) 初稿作成  
平成 26 (2014) 年 7 月 24 日 (木) 改訂稿作成  
令和 4 (2022) 年 8 月 2 日 (火) 再訂稿作成  
(レイアウト全面変更、一部補正、追加)

前に「サヨンの鐘」関係文献<sup>2</sup>を渉猟していた時、「サヨンの鐘」の作詞者である西條八十 (1892~1970) <sup>3</sup>の弟子の作詞家島田磬也 (きんや、1909~1978) <sup>4</sup>のことも調べたことがあった。尤も、島田の「女の階級」(昭和 11 年) <sup>5</sup>、「裏町人生」(昭和 12 年)、「上海ブルース」(昭和 13 年) 等には、個人的にも以前より関心があったが、その時初めて見た島田の自伝『裏町人生』(創林社、昭和 53 (1978) 年 11 月 10 日刊) からは、いろいろなことを知り得た。

その中で、島田が一時期関屋敏子 (1904~1941) <sup>6</sup>に声楽を学んでいたことを知った (96~98 頁)。上記書には、「フランス系のアメリカの将軍の孫で、白人の血をひいていられた先生の宅には、歌舞伎の名優市村羽左衛門<sup>7</sup>さんが時々見えていた。」(96 頁) とあるが、これは、例えば、我部政男 (1939~)・栗原純 (1947~) 編『ル・ジャンドル台湾紀行』第 4 巻 (緑蔭書房、平成 10 年 11 月 30 日刊) 所収の栗原純「『ル・ジャンドル台湾紀行』解説」466 頁にいうことを指す。ついては、十五世市村羽左衛門と関屋敏子とのことをもう少し知りたく、当時ネットで検索したところ、秋山加代氏 (小泉信三 (1888~1966) 令嬢、1922~ [2017]) に「新春特別寄稿十五代羽左衛門私考」なるサイト<sup>8</sup>があり、それには、里見淳 (1888~1983) <sup>9</sup>『羽左衛門伝説』(毎日新聞社、昭和 30 年刊、昭和 44 年 2 月 25 日復刻刊) や『岩波西洋人名辞典』の紹介があつて、十五世市村羽左衛門 (1874~1945) と関屋の母愛子 (? ~1967、86 歳) が兄妹で、台湾出兵<sup>10</sup>で有名なル・ジャンドル (Le Gendre Charles William, リゼンドル、(漢) 李仙得、李善得、1830~1899) の令息、令嬢に当たること等が、詳しく紹介され

1

<http://kotobank.jp/word/%E3%83%AB%3D%E3%82%B8%E3%83%A3%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%AB>

2 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sayun001.pdf>

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sayunbunken.pdf>

3 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A5%BF%E6%A2%9D%E5%85%AB%E5%8D%81>

4 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B3%B6%E7%94%B0%E7%A3%AC%E4%B9%9F>

5 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kusunoki.pdf>

6 <http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/history/jinbutu/hito5.html>

7

[http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B8%82%E6%9D%91%E7%BE%BD%E5%B7%A6%E8%A1%9B%E9%96%80\\_\(15%E4%BB%A3%E7%9B%AE\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B8%82%E6%9D%91%E7%BE%BD%E5%B7%A6%E8%A1%9B%E9%96%80_(15%E4%BB%A3%E7%9B%AE))

8 <http://www.i-sys.ne.jp/special/hazaemon/hazaemon.html>

<https://www.mita-hyoron.keio.ac.jp/post-war-pictures/201802-01.html> (令和 4 (2022) 年 8 月 2 日追加)

9 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%87%8C%E8%A6%8B%E3%81%A8%E3%82%93>

10 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%B0%E6%B9%BE%E5%87%BA%E5%85%B5>

ていた。

リゼンドルといえば、明治7(1874)年の台湾出兵の立役者であり(例えば、前掲『ル・ジャンドル台湾紀行』、毛利敏彦(1932～[2016])『台湾出兵』(中公新書、平成8年7月25日刊)19頁以下等参照。)、広く台湾史に関心を持つ者にはなじみ深い人物であるが、同氏と十五世市村羽左衛門、関屋敏子との関係は、非常に興味深いものがある。

その後、上記里見弴(1888～1983)『羽左衛門伝説』を読む機会を得、更に様々なことを見出し得た<sup>11</sup>が、リゼンドル本人については、李朝末朝鮮との関係もあり、今後更に調べてみたいと考えている。

ここに誌したことなどは、すべて周知のことではあるが、「サヨンの鐘」絡みで島田馨也の自伝『裏町人生』より得た知識として、敢えて挙げておいた次第である。

\*\*\*\*\*

#### 【附録】

本 HP 別稿日本統治下台湾警察史関係抄

- ・「法制史学者著作目録選」中「日本統治下台湾警察史コーナー」参照(下記はその一部)  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>>
- ・台湾総督府警察官及司獄官練習所覚書  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/renshujo.pdf>>
- ・旧台湾警察諸警友会の回顧  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keiyukai.pdf>>
- ・明治35(1902)年台北刊行の『警察監獄学雑誌』検討一斑  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugaku.pdf>>
- ・東川徳治氏検討一斑—江戸恵子氏「楊舟 東川徳治年譜考」補遺—(本稿)  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/higashikawa.pdf>>
- ・姉齒松平判官(1885～1941)関係資料抄—日本統治下台湾法制史の一齣—  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/aneha.pdf>>
- ・『台湾警察協会雑誌』第75号(大正12(1923)年8月25日刊)の再発見について(—『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』補遺—日本統治下台湾警察史の一齣—(本稿)  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saihakken.pdf>>
- ・中島利郎教授編『台湾地方行政』総目・人名索引[試行本]』(緑蔭書房、平成21年9月30日刊)の刊行について[紹介](本稿)  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakajima001.pdf>>
- ・リゼンドル(ル・ジャンドル)について—台湾出兵、十五世市村羽左衛門・関屋敏子によせて—(本稿)  
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/legendre.pdf>>

<sup>11</sup> 里見弴には「ル・ジャンドル年譜」『文藝春秋』第29巻第10号(昭和56年)がある由(未見)。

目黒五郎・江廷遠共著『現行保甲制度叢書』(昭和 10 年初版刊)自序(再掲)―日本統治下台湾保甲制度検討の一として―

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/meguro.pdf>〉

・日本統治下台湾史関係写真集一斑一片倉佳史氏『古写真が語る 台湾 日本統治時代の 50 年 1895-1945』(祥伝社、平成 27 年 5 月 10 日刊)刊行に寄せて―

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/katakura.pdf>〉

(了)